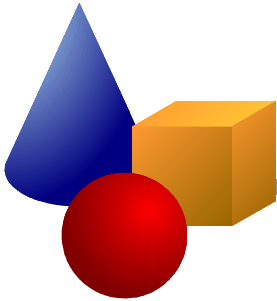


これからの社会が求める人材

- 中学生として今やるべきこと、身に付けておくべきこと -



東京都墨田区立綿糸中学校
3年3組出張授業資料

平成20年6月13日(金)
11:40 ~ 12:30

株式会社 開倫塾
林 明 夫
経済同友会、幹事
栃木県社会教育委員

はじめに、私はこの授業を「一期一会(いちごいちえ)」という気持ちで行います。この時間は二度と無いもの、一生に一回だけのこの瞬間と考え、全力投球でお話します。真剣に話しますので、おしゃべりを一切しないで真剣に聴いて下さい。

皆様がメモを取らなくてもよいように、話の大半のメモをお渡しいたします。皆様は、色ボールペンを用意し、大切と思われるところに線を引ながら話をお聴き下さい。私の話は、資料を見ながらお聴き下さるとよくわかります。資料から目を離さないようにお願いします。

なお、この Q は学校側からこのような内容で話をするよう依頼されたもので、それに答える形になっています。「最後に一言」も、ぜひお読み下さい。

Q 1) 好きな言葉は何ですか。その意味は何ですか。

(1) 「ブルドック魂(だまし)」。 食いついたら離すなという意味で、中学校のクラス担任 岡田忠治先生から教わりました。

(2) 「一所懸命」。 一つの所で命を懸けるくらい熱心に取り組もうという意味で、足利高校マラソン大会の合い言葉でした。

(3) 「一生勉強、一生青春」。 私の住む足利市の書家、相田みつを先生のことばです。相田先生は、私の家の近くをよく散歩なさっていましたので、とても親しみを覚えます。

(4) 「練習で泣いて、試合で笑え」。「自他共栄」、自分も他人も共に栄えようという意味で、中学校の柔道部監督椎名弘先生から教えていただきました。

(5) 京都一燈園の石川洋先生から教えていただいた、次のことばも大好きです。

「会った人は皆友達」

「捨てなければ得られない」

「よいことをして忘れること」

「人生逃げ場なし」

(6) 学校の先生や身近な尊敬する先生方から教えていただいたことばで、自分の心に触れることばはメモをしておくことをお勧めします。あとで何回も繰り返してそのメモを読み直すと、自分の人生そのもののようなことばとなるものもあります。

Q 2) どうしてこの職業に就(つ)こうと思ったのですか。

(1) 大学(慶應義塾大学法学部法律学科)卒業後、司法試験の勉強中に、生活のために学習塾や予備校の先生、家庭教師のアルバイトをしていました。そこで、「教えることのおもしろさ」を知りました。私は、慶應義塾大学司法研究室の研究生として、大学を卒業後 30 歳まで大学の研究室で法律の勉強をしていました。

(2) 視察に行った刑務所で耳にしたことばが、耳に残りました。「ちゃんと勉強していれば、こんな所に来なくても済む人ばかりなのに」ということばです。私は、刑務所で基礎教育の大切さを

知りました。学習塾で教えることも、少しでも世の中のためになるかと思いました。

私は、大学時代に犯罪の原因や対策を学ぶ犯罪学と刑事政策を勉強し、刑務所や少年院などの矯正施設によく視察に行きました。そこで、刑務所長や刑務官の方々から、どうしたら世の中から犯罪がなくなるのかお話を聞いて考えたことは、とてもよい勉強になりました。

(3)この2つの理由です。

Q3) 仕事の内容はどのようなもので、仕事のやりがいと苦労はどのようなことですか。

(1)開倫塾は、栃木県を皮切りに群馬県、茨城県に展開し、47の校舎を持つ塾生7000名くらいの学習塾です。その仕事の内容は、学校の補習と受験。つまり、学力面での不足を補うことと希望校への進学への支援です。その開倫塾で、塾長と経営上の責任者である取締役社長をしています。

仕事のやりがいは、一人ひとりの塾生の「本人の自覚」を促しながら、自分で勉強する力、つまり自己学習能力を育成することです。

(2)マニー株式会社という、手術用縫合針製造の会社の社外取締役をしています。「世界最高の製品を世界のすみずみに」を目標にし、栃木県宇都宮市の本社・工場を中心に、ベトナム、ミャンマーに工場があります。今、ラオスにも工場を作ろうとしています。世界の人々と共により会社を作り、また、よい製品を作ることが、仕事のやりがいです。

(3)宇都宮大学大学院工学研究科客員教授として、大学院生に社会に出て活躍できる能力を身に付けてもらうことが、仕事のやりがいです。「大学院生の教育」もしています。

Q4) 仕事をする中で、一番気を使うことは何ですか。

(1)相手の立場に立ってものごとを考えること。仕事をさせてもらう相手を、顧客と言います。この顧客の立場に立って考えるという顧客本位が最も大切と考えます。

仕事とは、顧客(お客様)にとっての問題解決に役立つことと考えます。

(2)相手とした約束を守ることも大事です。

約束した結果を出すこと。結果を出さなければ、仕事をしたことにならない、お客様のお役に立ったとは言えません。

(3)事件、事故のないことも大事です。

そのために、法律違反をしないこと。道徳に反したことをしないこと。社会のルールの中でプレイ、つまり仕事をするのが、仕事をする上で求められます。

(4)1つ1つの仕事には、「社会的使命(mission ミッション)」があります。例えば、タクシーの運転手さんには、お客様を希望の場所まで運んであげるという「社会的使命(mission ミッション)」があります。仕事のやりがいとは、自分の仕事の「社会的使命」を果たせたということだと考えます。

(5)今日の私の「社会的使命(mission ミッション)」は、3年3組の皆様、これからの社会が求める人材とは何か、中学生として今やるべきこと、身に付けておくべきことをお示しすることで、

皆様お一人お一人の「人生の成功」と持続可能な社会の形成に役立つことです。

そのために、事前に学校から皆様に伝えるよう依頼された質問項目に答えるという形で、かなり詳細な資料を作ってきました。今日の授業を思い出しながら、後でゆっくりお読み下さい。

Q5) この仕事に就いてよかったことやつらかったこと、成功談や失敗談などを含めて教訓がありますか。あれば教えて下さい。

(1) よかったことは、塾生の多くが、学校の成績が向上していることです。自分の行きたい学校(開倫塾では、自分の行きたい学校を、本人にとっての「一流校」と呼びます。)に進学し、目的意識を持って元気に勉強していることです。社会に出てからも元気に過ごしている塾生の話を聞くことは、私の最大の喜びです。

(2) つらかったことは、タバコの吸い過ぎでガンになり、死亡した職員の葬儀に出たことです。もっと注意すればと、悔やまれました。タバコは吸わないことが大事と、痛感しています。

(3) 仕事とは関係ありませんが、19歳の時に、友人が飲酒運転で4人同時に死亡したときは本当につらかったです。酒を飲んだら、絶対に運転しないことが大事と思います。

Q6) 社員として一番必要とする人とは、また、必要としない人とはどのような人ですか。

(1) 必要とされる人とは、相手の立場で考えられる人。約束が守れる人。明るく仕事ができる人。どうしたらできるかを考え、実行できる人です。

(2) 几帳面きちょうめんでない人。欠席、遅刻、忘れ物が多い人。文句ばかり言う人。できない理由を考え、やらない人には、安心して仕事を任せられません。おしゃべりや居眠りをしている人にも、仕事は任せられません。

(3) 但(ただ)し、社員が(2)のような状況になるのは、社長として社員に夢や希望を与えられないため、または、持っている能力を強化(empowerment エンパワメント、能力強化)できないためと考えます。会社の中で起こったことはすべて、経営者である社長の社会的責任と私は考えます。

(4) 社会に必要としない人はいない、会社にも必要としない人はいないと私は考えます。ただ、スキル、つまり仕事能力には高い低いがあります。仕事がよくできる人とあまり上手(じょうず)にできない人がいるのは事実です。また、やる気のあまり見られない人もいます。そのスキル、仕事能力とやる気をどう向上(up)させるのかを絶えず考えています。Skill Up(スキルアップ)、仕事能力向上が、「スキルに基づいた経済社会(Skilled Based Economy)」ではいつも求められます。ニートやフリーター対策としても、「Low Skill(低いスキル)」からの脱却が大事です。よい仕事をして生活できるだけの収入を得、また、仕事を通して生きがいを持つ、自己実現をはかるためには、スキル、仕事能力の高さが必要です。そのためには、仕事に就いてからも勉強し続け、スキルアップをはかることが求められます。

*この点、ヨーロッパでの取り組みがとても参考になります。

Q7) 社会人として身に付けてほしいものとは、どのようなものですか。

(1) 小学校、中学校、高校、大学、短期大学、専門学校など、皆様が学ぶ学校での全教科の内容は必ず身に付けてもらいたい。これに加えて、「英語」と「コンピュータ」、「専門分野の深い知識」を身に付けるとよい仕事ができます。

(2) 健康(心の健康、身体の健康)を、自分で管理(コントロール)する力を身に付けて下さい。タバコは、健康を著(いちじる)しく害します。「早寝、早起き、朝ごはん」をお勧めします。

(3) 世の中の動きを知ることは、仕事の上で欠かせません。そのために、新聞を毎日1時間以上読んで考える能力を、学生時代に身に付けて下さい。本を読み考える能力を身に付けることも大切です。

(4) 自分なりの勉強の仕方を身に付けること(自己学習能力とも言う)も大事です。

実は、社会に出てからの方が、勉強することははるかに多いのです。どのような仕事に就いても、よい結果を出すためには自分一人で毎日勉強しなければなりません。

(5) 多様性をそのまま受け入れる能力も大事です。

* 世界には、自分と違った所で生まれ、生活している人々がたくさんいます。行動の仕方、考え方が違って、驚いたり拒否したりせずに、とりあえずはそのまま受け入れる、そして、トラブルなく人間関係を築き上げる力、つまり「多様な集団の中で活動できる能力」を身に付けることが大切です。

(6) 自律心、自分自身をコントロールできる力が大切です。

規範意識(やってよいこと悪いことを考えることができる力)を身に付けることも求められます。

美意識も大切です。見苦しい行動はしないことを心掛けましょう。見苦しいことを皆がし始めたら、その場から立ち去る勇気を持つことも1つの大事な能力です。

そのためには、高い志(こころざし)を持つことが大事です。

このような形で、「自律的に活動できる能力」を身に付けることが、社会では求められます。

(7) 躰(しつけ)が身に付いていることが大事です。「躰」には2つの意味があります。

その1つは、美しい立居振舞い(たちいふるまい)です。人は外見で判断されますので、「服装第一」です。だらしない服装はしないこと、下着の見える服装はしないことが、仕事の上では大切です。

敬語表現を含む言葉遣いも大切です。職場では、です・ます調で会話ができることが求められます。ぞんざいな、また、乱暴な言葉遣いでは、お客様に接することはできません。職場の雰囲気も悪くなるので、チームでのプレイはできません。誰からも信頼されません。

(8) 社会のルール(「道徳」と「法律」)の尊重が求められます。そのためには、何が道徳であるか、何が法律であるかを知ることが大切です。何がルールであるかを知ることが求められます。知らないではすまされません。

例えば、自動車を運転する人は道路交通法を知らなければなりません。例えば、免許証なしで

自動車を運転すれば逮捕されることもあります。「そんな法律があるのは知らなかった」では通らないのが、現実の世の中です。

自動車を運転する人は、自動車教習所に行き、よく勉強した上で、運転免許証を取得し、道路交通法を守りながら運転しなければならない社会的責任があります。これが社会のルールです。このようなルールが、社会にはたくさんあります。身近なところから少しずつ身に付けることも、社会に出てからの大切な勉強です。

Q 8) 中学生の頃の将来の夢は何であり、どのような生活をしていましたか。

- (1) 弁護士か外交官になることが、中学時代の夢でした。
- (2) だからといって特別な勉強をしたわけではありませんが、新聞の法律や外交についての記事はよく読んでいました。

Q 9) 中学生の時に、熱中したものがありませんか。それは、どのようなものですか。

- (1) 友達とよく話をしたこと、遊んだこと。中学校の同級生、特に中学校 3 年生の同級生は一生の友達です。先生は一生の恩師、特にクラス担任は一生の恩師です。時々ケンカをしてもよいですが、クラスメートや先生とはいつまでも仲良くして下さいね。
* 本人や親の葬儀にまで参列するのが、中学 3 年生の同級生です。大切にして下さい。
- (2) 学級活動や部活動、生徒会活動は、学級委員長、柔道部部长、生徒会長としてとても熱心にやっていました。
- (3) 勉強もよくしましたので、中学時代は、朝起きてから夜寝るまでとても充実した毎日だったと自分でも思います。毎日がとても楽しかった思い出があります。

Q10) 中学生の時の得意と不得意教科は何ですか。どのようにしたら得意になるのですか。また、不得意教科をどのようにして改善しましたか。

- (1) 英語と社会と国語は、得意教科でしたので、教科書を手に入れたらどんどん予習をしました。
「わからないことをはっきりさせて授業に臨む」ことを心掛けました。
辞書(英和辞典、国語辞典、漢和辞典)をよく利用して、「理解」に役立てました。
授業後は、「音読」と「書き取り練習」をしました。
実用英語検定(3 級合格)は役に立ったように思います。当時は、英検 3 級に合格する人は中 3 でも 4 ~ 5 名とあまりおらず、全校朝礼で校長先生から表彰されたほどでした。
- (2) 数学と理科は、英・社・国に比べ、得意とは言えませんでした。そこで、「数学」は、教科書をいつも予習していました。授業後は、もう 2 ~ 3 回問題をやり直してから、問題集を勉強しました。「理科」は、少し厚目の学年別参考書で、よくわからないところを勉強しました。
- (3) 実技 4 科も、授業の前と授業の終わった後に、教科書とノートをよく勉強しました。
- (4) 試験の 2 週間前までに一通り勉強を終えた科目は、とてもよい点が取れました。
* 当時は、勉強する人があまりいなかったせい、中学校での成績は、ほとんど 5 ばかりでし

た。中学時代に勉強で苦労したことはあまりなかったといえます。

Q11) 中学校生活の中での楽しい思い出や失敗したこと等がありましたら、教えて下さい。

- (1) 修学旅行 (2) 柔道部の対外試合 (遠征) (3) 集団縄跳び (4) 合唱コンクール
- (5) 陸上(100 m走、200 m走、800 mリレー)の試合には学校から依頼されて出るが、陸上部員ではなかったため練習しなかったため、県大会ではいつも予選まででした。ただ、柔道部は、監督の椎名弘先生の教え方がよかったため、新人戦でも中 3 の本大会でも栃木県で優勝(団体戦)、個人戦でも準優勝でした。ちなみに、椎名先生は、昨年、講道館柔道 7 段をお取りになりました。

Q12) 中学生の時にやっておいてよかったことは何ですか。また、やっておいた方がよいと思うことは何ですか。

- (1) 本をよく読むこと(図書館の利用)、新聞をよく読んだこと。この2つは役に立ちます。
- (2) NHK ラジオ「基礎英語」、「続基礎英語」、「英語会話」での勉強も役に立ちます。
- (3) 好きなスポーツや文化活動を1つずつつくること。そして、一生涯やり続けること。
- (4) 卒業までに、クラスの全員と仲良くなること。中学のクラスメートは、一生の友達だからです。
- (5) 勉強の仕方のスキル(能力)を身に付けること。(英語で、Learning To Learn と言います。) ラーニング・トゥ・ラーン、勉強の仕方、「学習の学習」スキルを身に付けることが、社会に出て最も大事です。
- (6) 何のために勉強するのかを考えること、今やっている中学校での活動は社会に出てどう役立つのかを考えること。何のために高校に進学をするのか、高校に行き何を勉強するのかを考えること。どのような人生を送りたいのかを考えること。自分のために生きることが、世のため、人のためにどのように役に立つのかを考えること。このように、自分にとって大きな問題を、時々でよいですから、逃げることなく真剣に「考えること」、「考えることができること」が大事かと私は思います。
- (7) コンピュータゲームは、あまり長い時間やらない方がよいと考えます。1日3時間以上やるようだと、かなり問題です。「仮想現実」「倒錯」が生じて、引きこもりや犯罪にまで繋(つな)がります。「いいかげんにしろ」という批判が、社会で沸(わ)き起こっています。

Q13) 中学生の時に、将来やりたいことを考えていましたか。また、高校を決める時に何を参考にしましたか。

- (1) Q8)と同じ。
- (2) 弁護士や外交官になれるような大学への進学者が多い足利高校を選択しました。
- (3) 高校は、将来に備えて勉強するために行くところだと私は考えます。遊びやアルバイトをするために行くものではありません。安易な選択をしないことが大事です。

* 不合格にならないよう、夏休みからの受験勉強は、1日7時間の睡眠や、食事や身づくろい、家の手伝い、入浴など生活に必要な時間以外は勉強するくらいのつもりでした方がよいと私は考えます。高校に行っても、勉強をし続けることが大事です。高校は、遊びやアルバイトをするために行くところではありません。特に大学進学を目指す高校では、長時間の勉強が求められます。勉強にしろ、様々な活動にしろ、1つ1つの積み重ねが大事なのが高校です。すべてのことに手を抜かずにがんばれば、誰でも相当なレベルまでいくのが高校での勉強や様々な活動です。

Q14) 自分の夢を叶えるためには、どのようにしたらよいですか。中学生の頃にぜひ心掛けるべきものがありましたら、教えて下さい。

(1) 自分の道は自分で切り拓(ひら)くこと。「自己責任」、「自助努力」が大切です。人のせいにしてないこと。すべては自分の責任です。そのためには、自分は何のために生きるのか、自分の社会的使命(mission ミッション)を明確に持つ。「世のため人のために生きることが、自分のためにもなる。」志(こころざし)を高く持つ。私は、「持続する志」という、小説家の大江健三郎先生のことばが好きです。「志」は持続させてはじめて、成し遂げられます。

(2) どのようなことでも、目標達成のためにはいろいろな形での勉強あるのみです。勉強は、社会での勉強も含みます。自分以外、皆「師(先生)」と考えることも大事です。一人で勉強することはつらいので、志(こころざし)を同じくする「励まし合う仲間」を持つ。そのためには、「師匠(ししょう)」と呼べる人を持つことをお勧めします。自分の「師匠」を求めて、日本中、世界中を歩きまわるのも人生です。意外と身近にいるものです。このような意味での「勉強方法」を身に付けることが大事です。

(3) 家族のよさ、友人のよさ、錦糸中学校のよさ、墨田区のよさを見つけること。よさを見つけることができるのは「能力」です。「東京」の素晴らしさ、「日本」の素晴らしさ、「ASIA」の素晴らしさを知ることです。

(4) そして、最後には、自分のよさを見つけ、自分のよさを伸ばすこと。ただし、少しずつでよいですから、改めることは改める素直さが必要です。

(5) 自分なりに「善(よ)く生きる」ことを目指して下さい。

(6) メモを取り続けること。取ったメモを何回も読み返して身に付けることが、仕事能力(スキル)を身に付ける上で大切です。その練習として、中学時代には、授業中はノートを取り続ける。授業後はノートを整理し、そのノートを「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」し、隅から隅まですべて身に付けることをお勧めします。

(7) 「書き抜き読書ノート」に、本を読んで気に入ったところを一行でもよいから書き抜いておきましょう。それらを、折(おり)に触(ふ)れて読むこと、一生読み続けることをお勧めします。

* 日本や世界の「古典」もゆっくり腰を落ち着けて読むこと。同じ作品を、5 ~ 10年おきに読むと、新しい感動を覚えるのが古典です。

(8)外国でも活躍をして下さい。そのためには、英語を完全に身に付けることです。学校で習った文章はすべて暗記しましょう。何も見ないで正確に書けるまでにしましょう。単語を覚えるときは、文章ごと覚えましょう。単語は、毎年1000ずつ覚えましょう。1日に3つでOKです。

(9)「新聞日記」を。気になる事件の見出しを毎日10書き抜く。その中の1つの記事を切り抜き、コメントをつけましょう。中学生は新聞を1日に40分以上、高校生は1時間以上、一面からなめるように読むこと。実用英語検定2級に合格したら、日本語の新聞を読んで内容がよくわかっている記事だけでもよいから、「英字新聞」を声に出して読むことをお勧めします。

*実は、夕刊がおもしろいのです。日本は、新聞が家庭まで毎朝、毎夕配達される、世界でも非常に優れた国の1つです。特に、東京では、日本で一番早いニュースが毎日見られます。

*「新聞を読んで考える」能力は、他の能力の中で最も高い能力の1つです。ただし、新聞は、その新聞社の考えを示したものですので、時々違う新聞を図書館で読んでみましょう。

Q15)今までで一番つらかったこと、楽しかったこと、思い出に残るエピソードはどんなことですか。

(1)つらいのは、「人の死」。親族の死、友人の死。健康第一。「いつまでも若々しく生きる」という、日本にヨガを紹介した中村天風先生のことばが私は好きです。健康管理に気をつければ、多くの人が105歳まで生きられるのが、現代の日本です。

(2)楽しいのは、様々な場所で一所懸命な人の姿を見ること。様々な場所で「自然と精神」に触れることです。

Q16)企業経営として、日頃お考えになっていることは何ですか。

(1)世の中の動きは激しいということ。「人口減少」「国際化」「知識基盤」という3つの動きが、どんどん迫ってくると感じます。

(2)6月2・3日にパリで参加したOECDの国際会議で、Living Longer, Working Longer(リビング・ロンガー、ワーキング・ロンガー)「より長く生きよう、より長く働こう」ということばを学びました。

* Work(働く)とは、収入を得るために働くだけでなく、自分のため、家族のため、社会のために無料で働く(活動する)という意味も含まれると考えます。

(3)英語ができなければ、ハナシにもならないことが多いのも事実です。コンピュータも毎日使います。

(4)スキル・アップ(能力の向上)が、生きている間中求められるのが現代社会と考えます。

Q17) 人間として大切な資質や生き方は何ですか。

- | | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(1) 学校で学ぶような知識と、コンピュータなどで得られる情報、仕事の上での技術をよく組み合わせながら用いることのできる能力。</p> <p>(2) 異質な集団、多様性の高い集団の中で活動できる能力。</p> <p>(3) 自律的に活動できる能力。</p> <p>(4) 「読書量」と、「勉強の仕方」の能力(スキル)が、この3つの「能力」を身に付ける条件。</p> <p>(5) 「人生の成功」と「持続可能な社会」のため。</p> <p>(6) 一生勉強、一生青春。</p> | } | <p>この3つの「鍵のように大切な能力(キー・コンピテンシーと言います)」を少しずつ身に付けること。生涯にわたって身に付けること。生涯教育が大切です。</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------------|

最後に一言

- (1) 「これでは勉強ばかりで息が詰まってしまう、人生に何のおもしろみもない」と思われる方も多いと思います。ただし、今日の私に皆様の錦糸中学校から予(あらかじめ)め与えられたテーマは、「これからの社会が求める人材 - 中学生として今やるべきこと、身に付けておくべきこと」ですので、このようなお話になりました。人生の楽しみや遊びは、各自がよく考えて見つけるとおもしろいと思います。最後に、私の人生の楽しみとは何かを少しお話いたします。
- (2) 今日はお話できませんでしたが、私の住む栃木県には素晴らしい自然がたくさんあります。温泉も、栃木県内のほとんどすべての市や町にあります。私がよく来る東京は、全世界の人々が一度は行ってみたい、住んでみたい、学んでみたい、あこがれの街のようです。東京では、毎日のようにコンサートが開かれています。私は音楽が好きで、よくコンサートに行きます。東京には美術館も多い。美術も好きで、よく美術館にも行きます。東京にはたくさんの劇場があります。劇やオペラをみるのが好きで、よく劇場に行きます。東京には美しい日本庭園がたくさんあります。東京の公園を散歩するのもとても楽しい。私は勉強が足りませんので、国際会議に参加するために1~2か月に1回は外国に行くようにしています。その折りに外国の街をトコトコ歩き、人々がどのような生活を送っているのかを見るのも好きです。体重が増えるのを気にし始めたので、日本食、特に「マクロビオティック」のレストランにも最近をよく行っています。
- (3) 国内の移動には、自動車をよく使いますので、ドライブが結構楽しみでもあります。今運転している15年目の車は、走行距離が50万kmをとうとう超えてしまいました。日本の車は、故障なくよく走ります。移動には、新幹線もよく使います。電車やバスに乗るのが大好きなので、移動は楽しみの1つです。乗り物好きなので、飛行機に乗るのもとてもおもしろいです。
- (4) 車以外での移動中は、本をよく読みます。自分の好きな分野の本はスラスラ読めますので、移動の多いときは、2~3日に1冊は読んでしまいます。ハリー・ポッターは読んだことがありませんでしたが、先日、翻訳なさった松岡さんのお話をパリのOECD本部の会合でお聴きしたので、この夏に読んでみようと思っています。

(5)文を書くのも大好きです。書かなければならない原稿がたくさんありますので、いつも何かを書いています。CRT 栃木放送という放送局で、週に1回10分弱のラジオ番組を一人で21年間もやっているの、リスナーの人が聴いておもしろいなあと思うことは、まとめて話をしていません。放送の内容は、あとで文章にしてもらっています。

(6)友達は、少しずつですがあちこちにいます。ただ最近はずいぶん入ってきますので、以前は毎月のように会っていた人とも、年に何回かしか会えないことが多くなりました。

(7)今年に入り、刑務所に毎月のように行き、受刑者の教育について打ち合わせをしたり、短い時間ですが、毎月1回は受刑者の皆さんに勉強の仕方などをお話するようにしています。大学時代に、勉強するために何回も刑務所を訪問しましたので、受刑者の社会復帰のためにお役に立つことができ、とてもうれしく思います。

(8)皆様のお便りに、「中学時代に勉強で苦労したようだ」とありましたが、勉強だけはいくらかしたので成績は悪くなく、440名の中でいつも1ケタでしたので、中学時代に勉強で苦労したことはあまりありません。

問題は高校に入ってからでした。中学の時には、それほど勉強しなくてもクラスではいつも一番、学校でも一番ではないにしてもいつも1ケタでしたので、高校を少し甘く考えていたら、一時は、300名の中で2ケタに入るのがやっとなってしまいました。3年生までには盛り返し、私立文系の大学進学者の中ではトップになり、希望通り慶大に合格を果たしましたが、各中学校の1~2番ばかりが集まったクラスに入ったためか、高校1年生の1~2学期は本当に大変でした。クラスの大半が、本当によく勉強していました。私はボーッとしていたため気がつきませんでした。夏休みにはクラスの半分以上の人が毎日学校に来て、教室で勉強していたようです。勉強に疲れると、プールで泳ぎながら…。高校を卒業後しばらくして同窓会をしたら、同じクラスで7名も医学部に進学していました。そのような中で勉強するのは、本当に大変でした。私が勉強で苦労したのは高校です。ただ、皆、行きたい大学はかなりはっきりしていたので、私も含めて勉強を嫌(いや)がっている人は一人もいませんでした。全員が目を輝かせて勉強していました。

皆さんの中で「進学校」に入学する方は、相当気を引き締めて勉強して下さいね。

以上

働くとは何かを考える

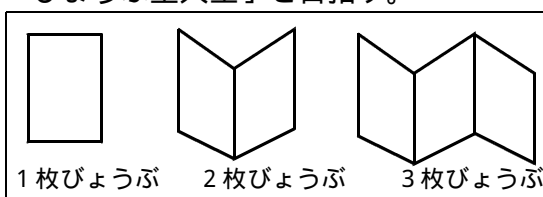
- 9 月の職場体験(5 日間)の目標設定のために -

林 明 夫
(経済同友会、会員)

1. はじめに - 私の仕事・活動 -

- (1) 株式会社 開倫塾代表取締役社長
 - ・学校で不足する勉強を補う学習塾(小学 1 年 ~ 高校 3 年生)
- (2) マニー株式会社 社外取締役(手術用縫合針製造)
 - ・白内障の手術用メス、歯根治療のバーモ
- (3) 東日本高等学院 評議員
 - ・福島市
- (4) 特別養護老人ホーム清明苑 理事
 - ・足利市
- (5) 宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授
 - ・大学院修士課程の学生が対象
- (6) 開倫ユネスコ協会 会長
 - ・「人間の安全保障(Human Security ヒューマン・セキュリティ)」の推進
- (7) CRT 栃木放送「開倫塾の時間」担当
 - ・効果の上がる「勉強の仕方」を毎週 1 回放送、21 年目
- (8) 読売新聞 栃木版 とちぎ寸言「コラム」執筆
 - ・今月からスタート
- (9) 栃木県社会教育委員
- (10) 経済同友会、幹事

* 「びょうぶ型人生」を目指す。



私は「3枚びょうぶ型」の人生を目指す。(人生には3つのびょうぶがある)

「経営者」を目指す。

「経済界から発言する人」を目指す。

「社会教育(社会の中で教育)する人」を目指す。

2. 仕事とは何か - 何のためにこの仕事はあるのか、仕事の「社会的使命(ミッション)」を自覚しながら働こう、活動しよう -

(1)すべての仕事には、お客様のお役に立つという「社会的使命(mission, ミッション)」がある。

(2)お役に立つとは、お客様の問題解決になること。

* 何がお客様の問題なのかを、お客様の立場で考えなければならない。

(3)お客様の問題解決にならなければ、仕事をしたことにならない。「社会的使命(ミッション)」を果たしたことにならない。

* 結果を出さなければ、仕事をしたことにならない。常に結果が求められる。

(4)お客様のお役に立つこととは、社会のお役に立つこと。仕事を通して、社会に参加し「社会的使命(ミッション)」を果たすことができる。

(5)お客様の問題は何かを知るためには、お客様の立場でものを考えること。世の中の動きをよく知った上で、お客様の問題の解決策を考えること。

* 新聞を読んで考えること。TV やラジオ、雑誌でニュースを見・聞き・考えることは大事。

(6)ただし、仕事には競争相手がいる。いつもお客様の本当の問題は何かを考え続けないと、お客様はいなくなる。

* 競争相手は日本だけではなく、世界中にいる。また、新しい競争相手はどんどん出てくる。

(7)価格が高い、不便、内容がよくわからないと、お客様のお役には立たない。

* いくらお客様の役に立っても・・・。

(8)法律や道徳に反した方法で仕事をすることは許されない。だから、何が法律、道徳かを学び続ける必要がある。知らないことは許されない。「法律の不知は許さず」(法律のことわざ)

- 「ルールの中でのプレー」が、仕事でも求められる -

3. 何のために働くのか - ディーセント・ワーク(Decent Work ちゃんとした仕事)に就こう -

(1)生活できるだけの収入を得るため。

(2)自己実現するため。

4. 仕事をする上で必要な能力とは

(1)お客様のお役に立つ、問題解決のためになる仕事を自由競争の中でするためには、高いスキル(仕事能力)が必要。

(2) 高いスキルを身に付けるには、小学校や中学校、高校、大学などでの教育を十分受けることが大事。

小学校や中学校で勉強したことは、すべて仕事に役立つ。

教科の勉強も役に立つが、教科以外の学校での活動もすべて役に立つ。だから、学校での活動にしっかり取り組んでほしい。

遅刻、欠席、早退、忘れ物、おしゃべり、ケータイ、e-mailが多いと、仕事にならない。

人の話をよく聞き、メモを取り続ける。取ったメモは何回も読み返し、身に付ける。

* 仕事能力は、「メモ」で身に付ける。

(3) 「英語」と「コンピュータ」、「得意分野(専門領域)」は、どんな仕事でも必要不可欠。英語はしっかり勉強を。得意科目はとことん伸ばそう。

(4) 社会に出てからが本当の勉強。仕事の上でも、新しいことをドンドン学び身に付けて、スキルを向上させ続けなければならない。「スキルアップ」

* 社会に出てからが本当の勉強。とりあえず 35 歳までは毎日勉強。

* 35 歳すぎてからも勉強を積み重ねると、よい「仕事・活動」ができる。

* 70 歳すぎたら、「一人で生きる」ための勉強もスタートすること。人生は長い。

105 歳すぎまで元気にがんばろう

(5) 健康(心の健康と身体健康)を自分自身で管理できること。健康管理も、自己責任・自助努力。自分ですべてやる。

* 口の中に入れる物(食べ物)を大切に考えよう。

(6) 「躰(しつけ)」が身に付いていること。

「美しい立居振舞い」(服装第一)

「敬語表現を含む言葉遣い」(「です、ます調」で話せること)

5. 効率の上がる勉強方法とは - 「学習の3段階理論」 -

(1) 「理解」(「うんなるほど」とよくわかること)

学校などの授業での「理解」

(ア) 「遅刻」「欠席」「早退」「忘れ物」「居眠り」「おしゃべり」があると、「理解」ができない。著しく妨げられる。

(イ) 手を机の上に置き、先生の目を見て真剣に話を聴くこと。

(ウ) 大切なことは、ノートにどんどんメモを取ること。

* 授業終了後、あとで勉強しやすいように「ノート整理」をすること。

自分の勉強での「理解」

(ア) 勉強するもの(テキスト)を決め、一語、一語どのような意味か考えながら、「うんなるほど」と「腑(ふ)に落ちるまで」よく読むこと。

(イ)意味のわからない語句は、辞書や事典、参考書でよくわかるまで調べる。調べたことは、ノートに「メモ」をしておくこと。

*「予習」とは、「自分で勉強」し、十分「理解」できないことをはっきりさせてから授業に臨むために行うもの。

(2)「定着」(練習、練習、また練習ですべて暗記)

一度「うんなるほど」と「理解」したことを、何も見ないでスラスラ正確に言えること。そのためには、「教科書」「ノート」を何十回も「音読練習」を。

*英単語は、その英単語が用いられている文章ごとそっくり覚えること。(単語だけで覚えるよりも、使い方がよくわかり身に付く)

何も見ないでスラスラ言えるようになったことを、何も見ないで正確に書けるまでにすること。そのためには、何十回も「書き取り練習」を。

*「漢字書き取り」を、すべての教科で行うこと。(書き順にも気をつけよう)

一度「うんなるほど」と解き方を十分「理解」した問題は、問題を見た瞬間に条件反射でパツ、パツと正解が出るようにすること。そのためには、同じ問題を何回も(最低6回)「問題練習」を。

*「予習」をして十分「理解」できた内容は、「練習、練習、また練習」で「定着」させること、すべて「暗記」すること。「自分で勉強」した内容で「理解」できたことは、「三大練習」ですべて「定着」させること。

(3)「応用」

定期試験で100点が取れること、国家試験や資格試験、採用試験、入学試験で合格点が取れること。

(ア)過去の問題や予想問題を何回分かやること。

(イ)間違えた問題は、なぜ間違ったかを自分で研究。もう一度勉強し直すこと。

社会に出て役立てること。

(ア)そのためには、学校で用いた教科書やノートを大切に保存すること。

(イ)学校を卒業してからも、折に触れ「教科書」や「ノート」を読み続けること。ノートに必要なことを付け加えること。

6. 私の好きなことば

(1)「一生勉強、一生青春」(足利市在住だった 相田みつを先生)

(2)「捨てなければ得られない」(京都一燈園 石川洋先生)

*「会った人は皆友達」

「本当の月を見たことがあるのか、本当の自分を見たことがあるのか」

(3)「一所懸命」(一つの所で命を懸けるくらい熱心にものごとに取り組もう)

(足利高校のマラソン大会の合言葉)

(4)「ブルドック魂」(くいついたら離すな)

(足利市立山辺中学校のクラス担任 岡田忠治先生)

(5)「練習で泣いて試合で笑え」「自他共栄」(自分も他人も共に栄えよう)

(足利市立山辺中学校柔道部監督 椎名弘先生)

(6)「注意一秒、ケガ一生」(慶應義塾大学法学部法律学科 宮沢浩一教授)

*「法律を勉強した人は、常に最悪のことを予想しながら行動すること」(慶大、峯村光郎教授)

(7)「いつまでも若々しく生きる」(中村天風先生)

(8)「Living Longer, Working Longer」(OECD フォーラム 2008 / パリで)

(より長く生きよう、より長く働こう・活動しよう)

(9)「If you can dream, you can do it!」(もしあなたが夢を見ることができれば、あなたはそれ
をすることができる)(アメリカヒューストン、人類を月に立たせた宇宙技術者の合言葉)

(10)「独立自尊」(人も国も一人で立てるようになってはじめて尊い)

(慶應義塾創始者、福沢諭吉先生)

7. おわりに - おすすめしたいこと -

(1)「書き抜き読書ノート」

本を読んで気に入ったことばに出会ったら、書き抜いておく。

* 夏休みには少し厚目の本も読もう

「ハリー・ポッター」を読書のきっかけにするのもよ
えい。

「夏目漱石」の作品は、何回読んでも興味深い。

「古典」や「自叙伝」も面白い。

折に触れ、何回も声を出して読む。

(2)新聞を1日に1時間以上一面からなめるように読み、考えよう!! 記事は切り抜き、ノートに
貼っておく。早目に「英検2級」を取り、「英字新聞」も毎日読んでみよう。

(3)よいところ捜しを

家族のよいところ、友人のよいところ、大宮中のよいところ、杉並区のよいところ、東京のよ
いところ、日本のよいところ、アジアのよいところ、そして自分のよいところを、一つでもよ
いから捜してみよう。

* 他人の悪口は言わない。他人をからかわない。(悪口を言われても、からかわれても、あま
り気にしない。ただし、自分のためにせっかく言ってくれたアドバイスには耳を傾ける。)
自分のよいところをどんどん伸ばそう(改めるところは少しずつ改めながら)。「よく生きよう」。

(4)「健康第一」(「早寝」「早起き」「朝ごはん」を)。

(5)メールやコンピュータゲームはやりすぎないこと。テレビやビデオを見すぎないこと。

以上

錦糸中学校 3 年 3 組の皆様へ

皆様、お便りありがとうございました。先日は少し早口でしたので、わかりにくい方もいらっしゃったようで、申し訳なく思います。心からおわび申し上げます。折角(せっかく)皆様がお便りを書いて下さいましたので、先日の授業資料に少し付け加えて小冊子にしたものを、お送りいたします。お時間のある時にでも御一読下さい。

最後のところに、「勉強や仕事以外」のことについて、私の生活も少し書きましたので、御参考までにお読み下さい。

皆様にお話した翌週に、杉並区の大宮中学校の 2 年生にお話するように依頼されましたので、テーマに沿って原稿を書きお話ししました。(私は、各学校から依頼されると、必ずテーマに沿って原稿を書きます。)2 年生へのお話ですが、こちらの方がわかりやすいかも知れませんので、御参考までにお送りいたします。

私の住む栃木県足利市には、日本最古の学校「足利学校」があります。そこには、孔子の教えを 3000 人もの学僧が学んだことにちなみ、おみやげとして私の高校時代の漢文の先生が書いた「論語」があり、とても好評です。皆様からお便りをお寄せいただいたお礼に、足利学校のおみやげ「論語」を 1 冊ずつプレゼントさせていただきます。よろしかったら御家族の皆様と一緒に時々お読み下さい。

校長先生、副校長先生、担任の先生はじめ皆様によろしくお伝え下さい。3 年 3 組の皆様が元気にお過ごしになられますよう、お祈り申し上げます。

2008 年 7 月 1 日

林 明夫